

(一社) 日本機械学会 関西支部シニア会  
関西支部シニア会活動報告

行事名	2025年度（第19回）シニア会と学生会の交流会
開催日時	2025年10月11日（土） 14時30分～18時30分
場所	関西大学 千里山キャンパス 4201教室ほか
参加人数	32名（シニア会8名、学生22名、教員ほか2名）
議事次第	<p>テーマ「シニア会と学生会との討論会～機械系技術者の生き甲斐～」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 谷川雅之シニア会会長の開会挨拶</li> <li>2. 基調講演「哲学的技術論と設計」斎藤了文氏</li> <li>3. シニア会メンバーによる自己紹介を兼ねた提言 田中正夫氏、有本享三氏、石原国彦氏</li> <li>4. 学生からの提言 野口君（同志社大学）、石崎君（兵庫県立大学）、 仁禮君（京都工芸繊維大学）</li> <li>5. グループ別自由討論会と懇談会（4グループに分かれて）</li> <li>6. 全体での総括 各グループの代表学生諸君から討論内容の報告</li> <li>7. 閉会挨拶 学生会幹事長の宅間正則氏 閉会の挨拶と全員による記念撮影</li> </ol>
概要	<p>基調講演では斎藤氏から、法学や心理学的な観点で、学生さんが社会に出たときにどう対処するか、を述べられた。NHKで放送中の「魔改造の夜」を例題に、各社が6週間という短期間で与えられたお題をカタチにしてタイムを競う番組を取り上げ、設計思想や不具合の対策などの違いから各設計者やリーダの哲学的見地からどう考えるかを解説された。</p> <p>シニア会員の自己紹介・提言では、あまり好きでなかった機械工学を論理的に続けて”生き甲斐”になった（田中氏）、80年代の不況で14年勤務の会社からIT企業への転職、その後の米国でのCAEソフト企業勤務、自ら会社を興したことなどの経験談（有本氏）、専門的知識を駆使して振動・騒音トラブルを解決し、顧客から感謝されるとき機械技術者としての生き甲斐を感じる（石原氏）などが述べられた。</p> <p>グループ別討論会では自由な雰囲気の中で食事をとりながら意見交換が行われた。</p> <p>学生からの提言、「①変化の時代に生き甲斐は変わったか？②若い間に経験すべきことは？③どんな能力（技術）を磨けばいい？」を中心に意見交換が行われ、シニア会員からの経験談に基づいて活発な討論が行われた。</p>



集合写真



グループ別自由討論会